

保健科学部の設置認可に係る記者会見を実施 2021年4月開設

新医療系学部設置準備室では、令和3年4月の開設に向けて、文部科学省に「保健科学部」の設置認可申請をしておりましたが、令和2年10月23日付けで文部科学大臣から正式に認可され、同月26日に、保健科学部の設置認可に係る記者会見を本学で行いました。記者会見には竹之下誠一理事長、安村誠司理事、矢吹省司新医療系学部設置準備室長が出席しました。初めに竹之下理事長より挨拶があり、「保健科学部の学部長には、矢吹室長が就任予定」と発表。続いて矢吹室長が保健科学部の概要について説明をし、最後に質疑応答を行いました。

冒頭の竹之下理事長の挨拶では「保健科学部の開設により、既存の医学部看護学部と合わせ、本学は3学部6学科を擁する医療系総合大学へと進化すると述べ、「県内唯一の特定機能病院である附属病院において臨床実習を行うほか、医学部・看護学部の教員も一部の授業を担当し、より専門性の高い教育を提供する体制を整えた」、「医学部・看護学部の学生との合同授業もカリキュラムに組み入れており、チーム医療の一翼を担い、県内の医療技術者のリーダーとなりうる人材を養成していく」などと説明し、「専門医療技術者の養成を通じて、福島県の地域医療の確保、県民の健康増進に一層貢献していきたい」と挨拶を締めくくりました。

矢吹室長からは、保健科学部の特徴として、「臨床経験や研究活動での実績が豊富な教員を全国から招へいし、県内医療技術者のリーダーの育成という本学部の役割を担うにふさわしい人材を集めた」、「教育機器については、MR Iを始め、医療機関や研究機関でも導入されている最新の機器を揃え、

卒業後は即戦力として活躍できる教育環境を整えた」、「附属病院や県内医療機関で充実した臨床実習を行えること、既存の医学部・看護学部との合同授業によりチーム医療の実際を経験できること」等の説明がありました。そして、「地域医療を担い、健康の面から復興を支える医療技術者を養成する」「学部教員はもちろん、全学の教員、そして第一期生の皆さんとも力を合わせて保健科学部の歴史、福島県立医科大学の新たな歴史を作っていきたい」と述べました。

活発な質疑応答を展開

最後に行った質疑応答では、竹之下理事長が「新しい時代に対応した指導者を集め、トップリーダーを養成するカリキュラムを用意した」とコメント。「災害医療、地域医療の教育に関して特徴的な内容はあるか」、「どういった学生に入学してほしいか」との質問に対して矢吹室長は「来年で震災10年となる。震災を知ってもらうため、県の伝承館の見学の授業を予定しているほか、県内の医療の現状を知るためのカリキュラムも用意している。また、医学部にも放射線災害関係の講義を依頼している」、「以前、高校の先生に話を聞いたところ、今の生徒は復興に意欲を持っている人が多いとのこと。健康の面から復興を支える意欲のある生徒に来てほしい。第一期生となる受験生の皆さんの歩みが、そのまま保健科学部の歴史となる。ぜひ頑張って入ってきてほしい」と答えました。



本学で開催された記者会見より中央に竹之下理事長、右側に安村理事左側に矢吹新医療系学部設置準備室長

街中の交流拠点としての役割も期待

また、JR福島駅から徒歩約5分位置する旧コルニエツタヤ跡地に、地上8階地下1階の保健科学部新校舎を県が建設中。来年1月末の完成を予定しています。1988年に本学が光が丘に移転して以来、33年ぶりにその一部が福島駅前キャンパスとして街中に帰ってくることに注目が高まっています。

会見でも、竹之下理事長が「福島駅から徒歩5分と絶好の立地であり、福島の街中の活性化にも貢献できるものと考えている」と述べ、矢吹室長も「学生は市民と触れ合う機会が増えることで、高齢者の問題などにもじかに触れる機会が増えるのではないかと期待している。学部には交流スペースもつくる」とコメント。会見を経て、保健科学部への期待はさらに高まりました。



保健科学部新校舎建設状況
※10月20日現在

WEB OPEN CAMPUS 2020 10月30日公開

本学医学部及び看護学部では、例年入学希望者を対象に学内の施設や雰囲気を実験いただくためのオープンキャンパスを開催しておりますが、今年度は新型コロナウイルスの影響により、学内での開催を中止いたしました。それに代わる新たな取り組みとして、

【WEB OPEN CAMPUS 2020概要】

- ① 本学紹介動画
2分程度で本学全体を案内する「早回しキャンパスツアー」動画を新たに作成。
- ② 体験実習動画
毎年オープンキャンパスで行っている体験実習を動画で作成。
- ③ 学生の一日の様子
実際の生活の様子などを各学部1名ずつ紹介。
- ④ 受験生向けのQ&Aなど
過去のオープンキャンパス参加者から出た質問等をQA形式で掲載
- ⑤ 大学構内案内図（学内マップ）
学内の主な施設を360度VR写真で紹介
- ⑥ 入試情報

■サイトURL: <https://www.fmu.ac.jp/univ/nyugaku/weboc/>

令和2年度福島県立医科大学白衣式を挙 Student Doctorが踏み出した新たな一歩にエールを



令和2年10月16日(金)、本学講堂において「白衣式」が挙行され、鈴木弘行病院長より医学部4年生122名一人ひとりへ大学の校章等を刺繍した白衣が授与されました。

「白衣式」は、医師を目指す者としての心構えを新たにし、自覚を持って臨床実習に臨んでもらうことを目的に行われます。

学生たちは、10月19日(月)から、72週間にわたり本学附属病院等で実際に患者さんに接しながら医学を学ぶ臨床実習をスタートさせました。医学部生が診療参加型の臨床実習を行うためには、共用試験と呼ばれる全国共通の試験に合格し、「Student Doctor」として認定を受ける必要があり、その厳しい試験を突破して「白衣式」を迎えることができます。

本年度は、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、会場内のスペースを十分に確保し、参加者の距離を保って挙行いたしました。式典では、竹石恭知医学部長より「患者さんへの敬意のある行動を」と題し、続いて鈴木弘行病院長より「医師になるための心構え」と題してそれぞれ講話があり、学生たちは医師の道を歩む決意を新たにしました。

また、新たに作成しました早回しキャンパスツアーと体験実習動画は、本学公式YouTubeチャンネルでも視聴いただけます。

代替策ではなく、新しい生活様式に対応した取り組みのひとつである本サイトをぜひこの機会にご覧ください。



最後に、学生代表の赤沼桃さんが「技術と人間性を備えた医師となるべく、不断の努力を惜しまない」と誓いの言葉を述べ、手にしたばかりの白衣を身に着けた学生たちは、新たな一歩を踏み出しました。

その踏み出した道の先を見つめる真剣な表情のStudent Doctorに期待がかかります。



本学で開催された記者会見の様子



会見終了後も質問が続きました